




事業番号	05 11 01	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	医薬品等の安全確保・適正使用の推進		部局	健康福祉部	課・室	薬事管理課
			実施期間	S22～	E-mail	yakuji@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	健康長寿日本一を維持					
総合的に展開する重点政策	4-2 ライフステージに応じた健康づくりの支援					
	4-4 生命・生活リスクの軽減					

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿(予算編成時)	<p>【現 状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品等の製造から販売までの各段階や、薬局・病院・診療所で取り扱う者に対して、法令遵守や資質向上のための研修会等を開催し、医薬品の取り扱いの適正指導を実施しているが、医薬品医療機器等法違反等はなくなる状況。 ・県内で必要となる血液は、概ね県内献血者による献血で確保できているが、若年層献血者数が依然として減少傾向にあり、将来にわたる安定した献血量確保が課題となる。 ・依然として後を絶たない薬物乱用を防止するため、県民各層に対し、薬物乱用がもたらす健康被害と社会に与える重大な弊害を周知し、薬物乱用防止意識の高揚を図り、薬物乱用のない社会環境づくりを推進する必要がある。 ・新型インフルエンザ等の発生とまん延に備えた抗インフルエンザウイルス薬の備蓄及び大規模災害や毒物劇物の事故発生時における医薬品等の備蓄・供給体制を整備する必要がある。
	<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品等の品質、有効性及び安全性を確保するため、医薬品等の製造販売業者・製造者・販売業者の資質向上を図り、薬局・病院・診療所における医薬品等の適正な取扱いを目指す。 ・長野県内で使用される輸血用血液製剤等の原料として必要な血液量を、県内の献血者血液により確保し、血液の安定供給を図る。 ・薬物乱用防止に関する意識の高揚を図り、覚醒剤、大麻等の薬物乱用者の減少を目指す。 ・感染症の流行や災害時等緊急の事態に必要な医薬品等の備蓄・供給体制を整備することにより、県民の健康被害の拡大や保健衛生上の危害を防止する。 <p>【実施内容】</p> <p>薬事関係許認可及び立入検査、若い世代への献血啓発事業、若い世代への薬物乱用防止意識啓発事業 など</p>

指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]						No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況	事業コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度
		前年度繰越	0	0												
		現計予算	38,953	171,438									予 算 額	合計(A)	38,953	171,438
		うち一般財源	17,966	136,978										決 算 額(B)		
													職員数(人)		15.5	15.5

成果指標設定理由	<p>①薬局、医薬品等製造業などの薬事関係許認可施設に対する立入検査実施率を成果指標に設定 ※目標値：約3年に1回施設の立入検査を実施</p> <p>②長野県献血推進計画において定める献血者数に対する達成率を成果指標に設定</p>
達成状況の分析	<p>①必要な監視指導を着実に実施することができ、医薬品等の適正使用を推進することができた。</p> <p>②県内の医療機関で必要とされる血液が不足するような事態が生じることはなく、安定した需給状況であった。</p>

主な取組	<p>・薬剤師・薬局から発信！「信州ACEプロジェクト」実践事業 【多職種連携事業「おくすりバッグ 薬局にお持ちください！」】 服薬状況に残留薬等の問題を把握した患者の薬を「おくすりバッグ」を使用して他職種(患者)から各薬局(かかりつけ薬局)に持ち込む方法により適正な薬物療法を推進</p> 
	<p>【薬局でできるお薬・栄養・健康相談事業「あなたの栄養バランス・食生活大丈夫ですか!」】 薬物治療における副作用が低栄養を招き『フレイル』の原因になることが報告されていることから多職種と連携した来局者に対する声かけ、啓発・予防の取り組みを実施し、疾病予防・健康増進などの健康サポートを受けられる仕組みづくりを推進</p> 
	<p>・若年層への献血啓発事業 中学生・高校生からの献血推進ポスター募集(15校94点応募) プロスポーツチームとのタイアップによる観客への啓発(3チーム4会場)等</p>  <p>プロスポーツチームとのタイアップ</p> <p>声かけチラシ</p>

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<p>①医薬品等の品質、有効性及び安全性を確保する必要がある。</p> <p>②血液は長期に保存することができず、また人工的に製造することもできないため、常に献血により確保し続けていく必要がある。</p>	<p>①医薬品等の製造から販売までの各段階での許可業者の資質向上及び病院・診療所における医薬品等の適正な取扱いを推進する。</p> <p>②献血者数は全体的に減少傾向であるので、将来の献血者数の確保のためにも、10～30代の若年層への啓発を重点的に行う。</p>

事業番号 05 11 01 細事業一覧（令和元年度実施事業分） □当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業名 医薬品等の安全確保・適正使用の推進 部局 健康福祉部 課・室 薬事管理課

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
1	医薬品等監視指導事業		9,190 千円	14,363 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	許認可事務及び監視指導	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品等の品質、有効性及び安全性を確保するため、薬事関係許認可事務（GMP等実施状況調査を含む）及び監視指導（立入検査及び収去試験）を実施【立入検査件数 3,835件】 ・国のPIC/S加盟に伴い必須となったGMP調査体制を整備するため、GMPリーダー調査員の継続的養成等を実施 	
2	技術研修会	直接	医薬品等製造販売業者・製造業者・販売業者等の資質向上を図るため、研修会（1回）を実施	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
2	医薬品等安全対策事業		162 千円	1,422 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	医薬品類似商品安全対策	直接	医薬品等類似商品（いわゆる健康食品等）による健康被害を未然に防止するため、当該商品の試買（14品目）及び成分分析を実施	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
3	医薬品適正使用・環境整備事業		6,476 千円	4,118 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	ジェネリック医薬品使用促進事業	直接	後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進のため、県民への情報提供（セミナー開催を含む）を実施	
2	薬局機能強化・連携体制構築事業	直接	薬局のかかりつけ機能強化のため、関係機関・団体との推進会議（1回）を実施	
		委託	薬局のかかりつけ機能強化のため、関係機関・団体と連携し、モデル事業を実施（委託先：（一社）長野県薬剤師会）	
3	医薬品有効性確保・副作用対策事業	直接	医薬品等業務上取扱者への指導及び消費者への啓発等のため、関係書籍の購入を実施	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
4	医薬品取扱費		439 千円	124,187 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	国有ワクチン類の備蓄・供給	直接	国有ワクチン等の特殊なワクチン及び緊急治療用血清類を迅速に供給するため、これらワクチン等の備蓄及び供給体制の確保を実施	
2	抗インフルエンザウイルス薬の備蓄	直接	新型インフルエンザ等の発生とまん延に備え、健康被害及び経済への影響を最小限にとどめるため、抗インフルエンザウイルス薬の備蓄及び供給体制の確保を実施	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
5	災害用医薬品等対策費		880 千円	880 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	医薬品及び衛生材料の確保	補助金	災害時に必要となる医薬品及び衛生材料を確保するため、備蓄に対する補助を実施。（補助先：長野県医薬品卸協同組合、長野県医療機器販売業協会）	
		直接	薬事管理課及び保健福祉事務所において、事故発生時の応急処置をするための医薬品を配備する。	

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
6	献血普及啓発事業	4,041 千円	4,297 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	啓発及び体験機会の提供	直接	<ul style="list-style-type: none"> 幅広く啓発を行うためにラジオによる啓発を実施 気軽に体験できるように献血場所を提供 若年層対象にポスター募集やプロスポーツチームとタイアップした啓発 関係団体等と連携（献血推進協議会開催、献血推進員(40人)による啓発）
細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
7	菅平薬草栽培試験地管理事業	2,656 千円	5,660 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	菅平薬草栽培試験地管理事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> 希少優良種の保存・選抜のため、ダイオウの継承栽培を実施 試験地等で栽培した薬草の成分評価のため、環境保全研究所で試験検査を実施 来場者が快適に薬草に親しむ環境づくりのため、見本園、自然園及び研修棟等施設の整備・修繕を実施 県民への生薬の普及啓発のため、観察会等により試験地を活用 財源確保のため、ネーミングライツパートナーを確保
		委託	日常的な試験地整備及び来訪者への対応が必要なため管理を委託（委託先：長野県薬草生産振興組合）
細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
8	薬物乱用防止啓発事業	2,327 千円	2,391 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	長野県薬物乱用対策推進協議会の運営	直接	長野県の薬物乱用意識の醸成のため、加盟団体を通じた啓発活動及び「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の実施
2	薬物乱用防止指導員の活動	直接	地域での薬物乱用防止啓発推進のため、薬物乱用防止指導員を設置（373人）
3	薬物乱用防止意識啓発	直接	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代への薬物乱用防止啓発のため、FM長野のラジオスポットを活用して集中的な啓発活動を実施 大学、専修学校、各種学校の学生指導担当者を対象に研修会を実施
		委託	若い世代への薬物乱用防止啓発のため、高等学校で薬物乱用防止教室を実施
細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
9	毒物劇物安全対策費	1,175 千円	1,276 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	監視指導	直接	<ul style="list-style-type: none"> 保健衛生上の危害防止のため、毒物及び劇物取締法に基づき毒物劇物業者等の登録・許可等の電算処理を実施 毒物劇物業者等における毒物劇物の取扱い等の適正化のため、立入検査を実施 毒物劇物に関する適正な取扱いや保管管理の徹底を図るため、危害防止運動を実施（2回） 毒物劇物に関する安全意識の高揚を図り、保健衛生上の危害防止のため、毒物劇物事故対策研修会を実施（1会場、1回）
2	空気呼吸器保守点検	直接	毒物劇物による事故等の有事に備えるため、保健所に主に配備した空気呼吸器の保守点検・空気の充填（11ヶ所、17本）及び法令の規定による耐圧試験（5ヶ所、5本）を実施
3	毒物劇物事故処理剤備蓄補助事業	補助金	毒物劇物の事故発生に伴う危害防止ため、毒物劇物事故処理剤備蓄に対する補助を実施。（7ヶ所、6品目）（補助先：長野県医薬品卸協同組合）
細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
10	地域医療介護総合確保基金事業（医療分野）	2,816 千円	2,321 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	薬剤師を活用した在宅医療研修会	補助金	在宅医療に対応できる薬剤師の資質向上を図るため、薬剤師に対する研修事業を実施（補助先：（一社）長野県薬剤師会）
2	薬剤師復職・就業支援事業	補助金	病院・薬局等における薬剤師の適正な配置を確保するため、潜在薬剤師等の復職・就業支援事業を実施（補助先：（一社）長野県薬剤師会）